

令和6年度第2回
福島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
開催概要

- 1 開催日時 令和7年2月17日（月） 13:30～15:00
- 2 開催場所 福島職業能力開発促進センター 教室棟イベントホール
- 3 主な議題
 - ・令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業計画等について
 - ・訓練計画専門部会について
 - ・施設部会について
- 4 協議内容
資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。
主な意見は以下のとおり。

(生産性向上支援訓練について)

- ・生産性向上支援訓練の受講により、業務改善につながった企業の「生の声」を収集し、広く発信していただきたい。
- ・DXとは単なる「生産性の向上」にとどまらずビジネスモデルの変革が必要となる。改善事例を踏まえて、どういうパターンで導入していくか、分かりやすくまとめて経営者層の理解が進むよう取り組んでいただきたい。

(民間企業と連携した訓練の実施について)

- ・企業には機械・設備がたくさんある。企業と連携すれば費用をかけずに訓練をする方法があるのではないか。今後、検討していただきたい。
- ・企業の人材不足は切実な問題であり、民間企業を利用したカリキュラム、コースを作る議論を始めるのも意義のあることだと思うので検討いただきたい。

(ハロートレーニングフェスについて)

- ・ハロートレーニングフェスは大変良い取組だと思う。意外とハロートレーニングを知らない経営者も多い。従業員教育に悩んでいる企業もある。既に実施しているかもしれないが、商工会議所や商工会連合会と連携して会員企業への情報発信に努めていただきたい。
- ・イベント開催前の予告広報に一層取り組んでいただきたい。

(親子ものづくり体験教室について)

- ・子供たちがものづくりを体験することはキャリア教育上も重要なことである。高等学校もキャリア教育に取り組んでいると聞くので、様々な相手方と連携し、地域で人材教育に努めていただきたい。

令和6年度 運営協議会委員名簿

区分	氏名	所属及び職名
学識経験者 (4名)	岩井 秀樹	国立大学法人 福島大学 地域未来デザインセンター 特任教授
	野地 誠	公益財団法人 福島県産業振興センター 理事長
	大場 盛子	一般財団法人 福島県婦人団体連合会 会長
	角田 守良	株式会社福島民報社 編集局長
労働者代表 (2名)	澤田 精一	日本労働組合総連合会福島県連合会 会長
	佐々木忠弘	自動車総連 福島地方協議会 副議長
中小企業等代表 (3名)	金子 市夫	福島県商工会連合会 専務理事
	菅野 宗徳	福島県中小企業団体中央会 事務局長
	安達 和久	福島県商工会議所連合会 常任幹事 福島商工会議所 専務理事
行政機関 (3名)	東平 真己	厚生労働省福島労働局 職業安定部長
	吉田 淳	福島県商工労働部 産業人材育成課長
	板垣 真也	福島市商工観光部 次長